



NEC Expressサーバ
Express5800シリーズ

17型LCDコンソールユニット ユーザーズガイド

型番 : N8143-83

第1章 概 要

第2章 準 備

第3章 セットアップ

第4章 保 守

第5章 付 録

ドキュメント

本製品のドキュメントは、次のように、冊子として添付されているもの、ユーザーズガイド CD-ROM 内に電子マニュアルとして格納されているものがあります。



スタートアップガイド

本製品の開梱から運用までを順を追って説明しています。はじめにこのガイドを参照して、本製品の概要を把握してください。



ユーザーズガイド CD-ROM

17 型 LCD コンソールユニット ユーザーズガイド

対象型番: N8143-83



1章 概要

本製品の概要、各部の名称、および機能について説明します。

2章 準備

本製品の適切な設置場所やサーバとの接続方法について説明しています。

3章 セットアップ

本製品の使用方法や各種機能設定について説明しています。


4章 保守

本製品の運用などにおいて、点検、保守、またはトラブルが起きたときの対応方法について説明しています。

5章 付録

本製品の仕様などを記載しています。

目 次

ドキュメント	1
目 次	2
本文中の記号について	5
商標について	7
本書についての注意、補足	8
最新版について	8
 使用上のご注意(必ずお読みください)	9
安全にかかわる表示について	9
本書と警告ラベルで使用する記号とその内容	10
安全上のご注意	11
全般的な注意事項	11
ラックの設置・取り扱いに関する注意事項	12
電源・電源コードに関する注意事項	13
設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項	14
お手入れ・取り扱いに関する注意事項	15
運用中の注意事項	16
警告ラベル	17
取り扱い上のご注意(正しくお使いいただくために).....	18
1 章 概 要	
1. はじめに	22
2. 付属品の確認	23
3. 特 長	24
4. 各部の名称と機能	25
4.1 本製品前面	25
4.2 本製品背面	27
4.3 LCD 操作スイッチ	28
4.4 キーボード LED と Hot-Key/Reset スイッチ	30
4.5 キーボード	31
4.6 タッチパッド	32

2 章 準 備

1. 設置と接続	34
1.1 設 置	34
1.1.1 ラックの設置	34
1.1.2 ラックへの取り付け	37
1.1.3 本製品の取り付け	38
1.1.4 ケーブルの接続	39
1.1.5 USB ポートへの接続について	44
1.1.6 UPS との接続について	44

3 章 セットアップ

1. ご使用前の準備や設定	47
1.1 コンソール引き出し方法	47
1.2 コンソール格納方法	48
1.3 LCD の調整	50

4 章 保 守

1. 譲渡・移動・廃棄	56
1.1 第三者への譲渡	56
1.2 本製品の廃棄	56
1.3 移動と保管	57
2. 日常の保守	58
2.1 クリーニング	58
2.1.1 本製品のクリーニング	58
2.1.2 キーボード、タッチパッドのクリーニング	59
2.1.3 LCD のクリーニング	59
3. ユーザーサポート	60
3.1 製品の保証	60
3.2 保守サービス	61
3.3 修理に出される前に	61
3.4 修理に出されるときは	62
3.5 保守用部品	62
3.6 情報サービス	62
4. 障害情報の採取	63
4.1 構成情報	63
4.2 修理時の情報	64
5. トラブルシューティング	65
5.1 POWER ランプ	65
5.2 本製品の機能	67

5.3 サーバ操作	67
5.4 キーボード・タッチパッド	68
5.5 ディスプレイ表示	69




5章 付 録

1. 仕 様	75
1.1 N8143-83.....	75

本書で使う表記

本文中の記号について

本書では安全にかかわる注意記号のほかに 3 種類の記号を使用しています。これらの記号は、次のような意味があります。

	本製品の取り扱い、ソフトウェアの操作などにおいて、守らなければならないことについて示しています。記載の手順に従わないときは、本製品の故障、本製品に接続された装置の故障など、 <u>重大な不具合が起きるおそれがあります</u> 。
	本製品の取り扱いや設定などにおいて、確認しておかなければならないことについて示しています。
	知っておくと役に立つ情報、便利なことについて示しています。

オペレーティングシステムの表記

本書では、オペレーティングシステムを次のように表記します。

本書の表記	Windows OSの名称
Windows Server 2008 R2	Windows Server 2008 R2 Standard Windows Server 2008 R2 Enterprise Windows Server 2008 R2 Foundation
Windows Server 2008 ※1	Windows Server 2008 Standard Windows Server 2008 Enterprise
Windows Server 2003 R2 x64 Edition	Windows Server 2003 R2 Standard x64 Edition Windows Server 2003 R2 Enterprise x64 Edition
Windows Server 2003 R2 ※2	Windows Server 2003 R2 Standard Windows Server 2003 R2 Enterprise
Windows Server 2003 ※2	Windows Server 2003 Standard Windows Server 2003 Enterprise
Windows PE	Windows Preinstallation Environment

※1 本書では、特に記載がない限り64ビット版/32ビット版を含みます。

Expressサーバに添付されるEXPRESSBUILDERの画面では次のように表示されます。

- Windows Server 2008 64 ビット版 : 「Windows Server 2008 x64」
- Windows Server 2008 32 ビット版 : 「Windows Server 2008 x86」

※2 本書では、特に記載のない限りWindows Server 2003 R2/Windows Server 2003を統一して「Windows Server 2003」と呼びます。

商標について

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。 Adobe、Adobeロゴ、Acrobatは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。 Linux[®]は、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における商標または登録商標です。 Red Hat[®]、Red Hat Enterprise Linuxは、米国Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

本書についての注意、補足

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については、4 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本書の説明で用いられているサンプル値は、すべて架空のものです。

本書は、必要なときにすぐ参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。また、「使用上の
ご注意」は必ずお読みください。

最新版について

本書は作成日時点の情報をもとに作られており、画面イメージ、メッセージ、または手順などが 実際のものと異なる場合があります。変更されているときは適宜読み替えてください。

本書をはじめとするドキュメントは、次の Web サイトから最新版をダウンロードすることができます。

<http://www.nec.co.jp/>

⚠ 使用上のご注意(必ずお読みください)

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。また、本文中の名称については本書の「各部の名称と機能」の項をご参照ください。

安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って操作してください。

本書には本製品のどこが危険で、どのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、本製品で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。







本製品に付属するドキュメント類、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



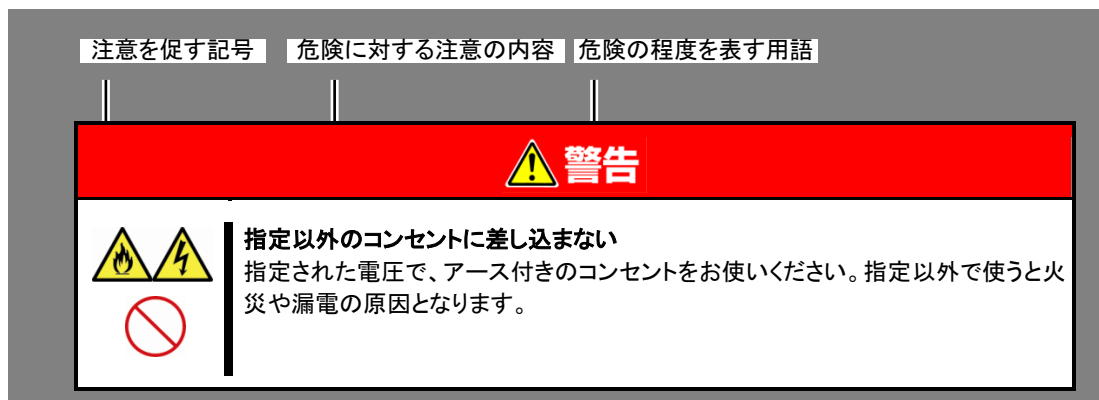
人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。

火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の 3 種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (電源プラグを抜け)

(本書の表示例)








本書と警告ラベルで使用する記号とその内容




注意の喚起

	感電のおそれのあることを示します。		指がはさまれてけがをするおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		けがをするおそれがあることを示します。
	爆発または破裂のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		濡れた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。
	特定しない一般的な禁止を示します。		







行為の強制








	本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。
	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。		






安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

 警告	
	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
 	煙や異臭、異音が生じたまま使用しない 万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに接続されている全てのサーバの電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。
 	針金や金属片を差し込まない 本製品のすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

 注意	
  	日本国外で使用しない 本製品は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。本製品を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。
  	本製品内に水や異物を入れない 本製品内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

 警告	
 	<p>規格以外のラックで使用しない</p> <p>本製品は EIA 規格に適合した 19 型 (インチ) ラックにも取り付け使用できます。EIA 規格に適合していないラックに取り付けて使用しないでください。本製品が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。本製品が使用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。</p>
 	<p>指定以外の場所で使用しない</p> <p>本製品を取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでください。本製品やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでなく、ラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付の説明書を読むか保守サービス会社にお問い合わせください。</p>

 注意	
 	<p>一人で搬送・設置をしない</p> <p>ラックの搬送・設置は二人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック (44U ラックなど) はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。かならず二人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。</p>
 	<p>荷重が集中してしまうような設置はしない</p> <p>ラック、および取り付け装置の重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。</p>
 	<p>一人で部品の取り付けをしない・ラック用ドアのヒンジのピンを確認する</p> <p>ラック用のドアやレールなどの部品は二人以上で取り付けください。また、ドアの取り付け時には上下のヒンジのピンが確実に差し込まれていることを確認してください。部品を落として破損させるばかりではなく、けがをするおそれがあります。</p>
 	<p>ラックが不安定な状態で装置をラックから引き出さない</p> <p>ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態 (スタビライザの設置や耐震工事など) で引き出してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。</p>
 	<p>複数台の装置をラックから引き出した状態にしない</p> <p>複数台の装置をラックから引き出すとラックが倒れてけがをするおそれがあります。装置は一度に 1 台ずつ引き出してください。</p>
 	<p>定格電源を超える配線をしない</p> <p>やけどや火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。なお、電源設備の設置や配線に関しては、電源工事を行った業者や管轄の電力会社にお問い合わせください。</p>
 	<p>指を挟まない</p> <p>ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。</p>
 	<p>リリースレバーを指で押さない</p> <p>Express サーバをラックへ取り付け・取り外しする際に、Express サーバのスライドレールは一旦ロックされた状態になるものがあります。ロックされた状態を解除するためのリリースレバーがスライドレールの両端にある Express サーバを収納する際には、このレバーをドライバなどの工具を使って押してください。指で押すとけがをするおそれがあります。</p>
	<p>スライドレールをロックしないで使用しない</p> <p>本製品を使用する際には、スライドレールがロックされるまで引き出した位置で使用して下さい。コンソールを収納する際には先に LCD を閉じてからスライドレールのロックを外し、ラックに収納して下さい。</p>

警告



ぬれた手で電源プラグや接続ケーブルを持たない

ぬれた手で電源プラグや接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。



アース線をガス管につながない

アース線は絶対にガス管につながないでください。ガス爆発の原因になります。



注意



指定以外のコンセントに差し込まない

指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。指定以外のコンセントを使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本製品の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。



クラス OI のアース線付の AC コードセットを使用する場合は、接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。



たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。



中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。



指定以外の電源コードを使わない

本製品に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。



また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードを踏まない。
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 電源コードをステーブラなどで固定しない
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)



添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない

添付の電源コードは本製品に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されている物です。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。



電源コードを持って引き抜かない

電源コードを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。コード部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとコード部分が破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。



! 注意



指定以外の場所に設置・保管しない

本製品を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。



腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する場所に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。本製品内部のプリント基板が腐食・ショートし、火災の原因となるおそれがあります。ご不明の点は販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。



本製品に接続されている製品の電源がONのままや、電源コードを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない

インタフェースケーブルの取り付け・取り外しは、接続されている全ての製品の電源をOFFし、本製品および接続されている全ての製品の電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。



指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する製品やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルやコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- ネジ止めなどのロックを外したまま使用しない。

警告



自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



電源プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れの際は、接続されている全ての製品の電源をOFFし、本製品および接続されている全ての製品の電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電するおそれがあります。












また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

注意



中途半端に取り付けない

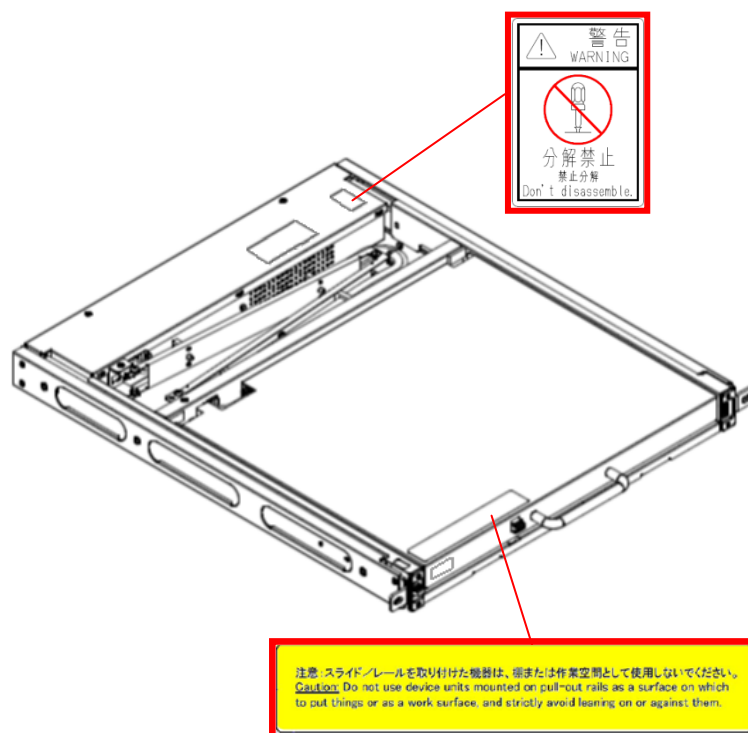
電源コードやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

 注意	
 	<p>雷がなったら触らない 雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて製品には触れないでください。また、機器の接続や取り外しも行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。</p>
  	<p>ペットを近づけない 本製品にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本製品の内部に入って火災や感電の原因となります。</p>
 	<p>動作中に装置をラックから取り外さない 本製品が動作しているときにラックから取り外したりしないでください。本製品が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。</p>
  	<p>不要な物を置かない 本製品の上にジュース等が入った缶やコップ等の不要な物を置かないでください。コップの中の水などがこぼれて本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、火災や感電の原因になります。</p>

警告ラベル

本製品の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本製品を取り扱う際に、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、剥がれかかっている、汚れているなどしているときは販売店にご連絡ください。

■前面・上面



■モニタ部



本製品を正しく動作させるために、次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると、本製品や Express サーバの誤動作や故障の原因となります。

- 本製品の近くで携帯電話や PHS を使わないでください。本製品のそばでは携帯電話や PHS の電源を OFF にしておいてください。電波による誤動作の原因となります。
- 本製品が正常に動作できる場所に設置してください。
- 本製品へのケーブルの接続／取り外しは、本製品に接続しているサーバの電源が OFF になっていることを確認し、サーバおよび本製品の全ての電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
- AC 入力電圧が 100V のコンセントに必ず添付の電源コードを使用して接続してください。本製品に添付以外の電源コードを使用しないでください。またコンセントはプラグの抜き差しがすぐできるように整理しておいてください。
- 本製品を清掃したり移動したりする前には、必ず電源プラグをコンセントから抜き、LCD の Power ランプが消灯していることを確認してください。
- 本製品を移動する場合は、本製品に接続しているサーバの電源を OFF にして、本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本製品を運搬する際は、衝撃や振動から本製品を守る為に、購入時の箱を使用してください。購入時の箱が紛失・損傷していた場合はご購入の販売店または保守サービス会社にご相談下さい。
- ケーブルを抜く際は線を持って引き抜かないでください。必ずコネクタ部分を持ってケーブルを抜いてください。
- 定期的に本製品を清掃してください(クリーニングについては 58 ページで説明しています)。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置(UPS)等を使用することをお勧めします。
- 本製品のスイッチは同時に 2 つ以上押さないでください。誤動作する恐れがあります。
- 本製品に添付されている以外の電源コードを使用しないでください。本製品に定格以上の電圧がかかると、故障や火災の原因となるおそれがあります。またこれらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。
- オプションのインタフェースケーブルは弊社純正品をお使いください。他社製のインタフェースケーブルを使用し、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。
本製品を保管する場合は、再度運用する際に本製品を正しく動作させるために、室温を保てる場所に保管することをお勧めします。
- 本製品を冷えた環境から暖かい環境に移動した場合には、結露する可能性があります。本製品が設置する場所の環境に十分なじみ、結露がない事を確認してから使用してください。
- 本製品を引き出した状態のまま放置すると、他のサーバや周辺機器を操作する際に本製品の角などにぶつかってけがをする可能性があります。本製品を使用しない場合はラックに収納して下さい。
- 本製品を引き出した状態で、脚立代わりに使用したり、よりかかったりしないでください。
- 体調の悪い状態での使用や長時間の使用は避けてください。
- 濡れた手での使用を避けてください。
- 濡れた手でコネクタの抜き差しはしないでください。
- 本製品の上にコップなど不要な物を置かないでください。
- 「モニタの設定」で指定されている解像度およびリフレッシュレートの組み合わせ以外の設定をした場合には正しく表示されません。正しく表示される解像度およびリフレッシュレートを設定してご使用ください。

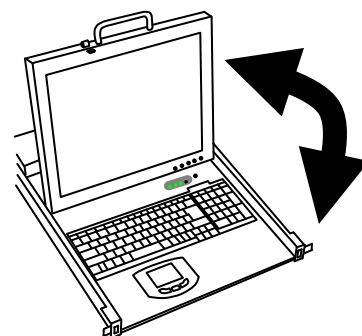
- キーボードコネクタ(紫色)とタッチパッドコネクタ(緑色)は同一形状の PS/2 コネクタとなっています。誤接続しないように色を確認して接続してください。
- キーボード／タッチパッドと各サーバの設定は正しく設定してください。設定が間違っていると正常に動作しません。
- サーバ接続コネクタに接続したケーブルのサーバ側コネクタ(VGA と PS/2 または VGA と USB)は同じサーバに接続してください。VGA と PS/2 または VGA と USB のコネクタが別々のサーバに接続していると、正常な表示・キーボード／タッチパッドの操作ができません。
- 本製品は DVI(Digital Video Interface)コネクタには接続できません。
- VGA ケーブルはコネクタの向きを確認し、ケーブルの固定ネジを使い確実に接続してください。確実に接続されていないとゴーストやニジミ等、画質劣化の原因となります。
- サーバスイッチユニットを接続する場合(カスケード接続を含む)には、Express サーバ純正品を接続してください。他社製品を接続することはできません。
- N8143-83 と N8191-12 サーバスイッチユニットや N8191-13 サーバスイッチユニットとのカスケード接続は、1 台目の N8191-12 サーバスイッチユニットまたは N8191-13 サーバスイッチユニットをマスタとし、更にスレーブに N8191-12 サーバスイッチユニットまたは N8191-13 サーバスイッチユニットを1段接続する事が可能です(2段接続)。スレーブのサーバスイッチユニットに更にサーバスイッチユニットを接続する事はできません(3段以上の接続は不可)。
- オプションは本製品に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ取り付けや接続ができて正常に動作しないばかりか、本製品が故障することがあります。
- 再度、運用する際、本製品を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。
保管する場合は、保管環境条件(温度: -10℃～55℃、湿度: 20%～80%、ただし、結露しないこと)を守って保管してください。

健康を損なわないためのアドバイス

コンピュータ機器を長時間連続して使用すると、身体の一部に異常が起こることがあります。コンピュータを使用するときは、主に次の点に注意して身体に負担が掛からないよう心掛けましょう。

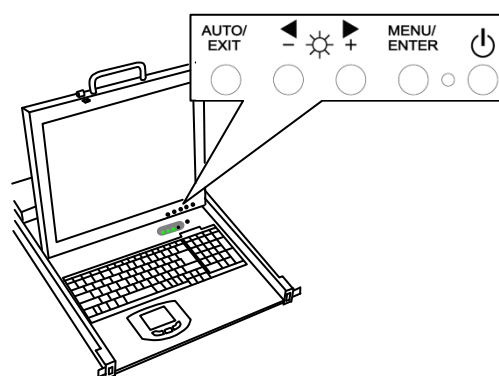
モニタの角度を調整する

モニタは上下の角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくしたりするためにモニタの角度を調節することは、大変重要です。角度調節をせずに見にくい角度のまま作業を行うと『よい作業姿勢』を保てなくなりすぐに疲労してしまいます。ご使用前にモニタを見やすいよう角度を調整して下さい。



画面の明るさ・コントラストを調節する

モニタは明るさ(ブライトネス)・コントラストを調節できる機能を持っています。年齢や個人差、まわりの明るさなどによって、画面の最適なブライトネス・コントラストは異なりますので、状況に応じて画面を見やすいように調節して下さい。画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると目に悪影響をもたらします。



機器の清掃をする

機器をきれいに保つことは、美観の面からだけではなく、機能や安全上の観点からも大切です。特にモニタの画面は、ほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなりますので定期的に清掃する必要があります。

疲れる前に休む

長時間の操作をされる場合は、疲れを感じる前に定期的に休みを取り、軽い体操をするなど、気分転換をはかることをお勧めします。



NEC Express5800 シリーズ 17 型 LCD コンソールユニット

1

概 要

本製品や添付のソフトウェアの特長、導入の際に知っておいていただきたい事柄について説明します。

1. はじめに(22 ページ)

2. 付属品の確認(23 ページ)

本製品の付属品について説明しています。

3. 特 長(24 ページ)

本製品の特長について説明しています。

4. 各部の名称と機能(25ページ)

本製品の各部の名称と機能について説明しています。

1. はじめに

このたびは、17 型 LCD コンソールユニット(以降、本製品と呼びます)をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本書に記載される内容は、Express サーバ用に開発された本製品について記載しています。

本製品は、ラックの1Uスペースに17型LCDとキーボード・タッチパッド(サーバやサーバスイッチユニットとPS/2 I/F または USB I/F での接続が可能)を搭載し、サーバと USB I/F で接続した場合には USB キーボード、USB マウスまたは USB Flash が接続可能な外部 USB ポートを1ポート装備しています。

本製品に装備されている Hot-Key ボタンを使用して、本製品に接続した N8191-12 サーバスイッチユニットや N8191-13 サーバスイッチユニットの OSD モードに入ることが可能です。OSD モードに入る事により、N8191-12 サーバスイッチユニットや N8191-13 サーバスイッチユニットの配下に接続されたサーバの切り替え操作を本製品のキーボードから行うことができます。

本ユーザーズガイドでは、N8191-12 サーバスイッチユニットを N8191-12、N8191-13 サーバスイッチユニットを N8191-13、N8191-12 および N8191-13 を総称する場合には SSU と表記しております。

2. 付属品の確認

梱包箱の中には、本製品以外にいろいろな付属品が入っています。これらの添付品は、移設や保守などにおいて必要となりますので **大切に保管してください**。



添付品はセットアップをするときに必要となりますので大切に保管してください。

N8143-83 添付品	
●	本製品 × 1
●	ユーザーズガイド(CD-ROM × 1) 注1
●	スタートアップガイド × 1
●	保証書 × 1
●	電源コード(2.0m) × 1
●	VGA ケーブル(1.8m) × 1
●	USB ケーブル(1.8m) × 1
●	PS/2 KB ケーブル(1.8m) × 1
●	PS/2 MS ケーブル(1.8m) × 1
●	ねじ(M5×16) × 10
●	ガイドレール(左右) × 1
●	ケーブルクランプ × 2

注1: ドキュメントは、「ユーザーズガイド CD-ROM」内に格納されています。これを参照するには、Adobe Reader が必要となりますので、あらかじめご使用の PC へインストールしておいてください。

すべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがあるときは、販売店に連絡してください。



- ・ 梱包箱や箱の中に入っていた固定用部材は、本製品を輸送する際に必要となります。大切に保管しておいてください。
- ・ ご利用になる設置環境によっては使用しない添付品がありますが、設置環境を変更する際に必要となる可能性がありますので、大切に保管してください。
- ・ 添付の保証書はアフターサービスを受ける時に必要となります。大切に保管しておいてください。

3. 特 長

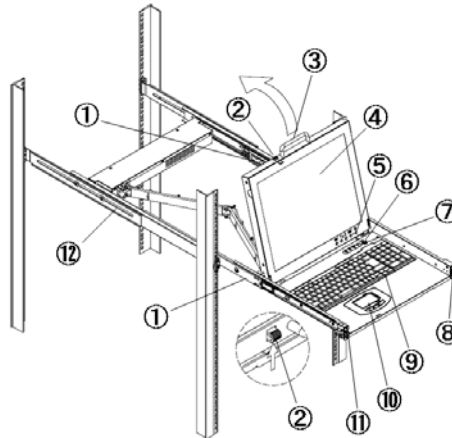
お買い求めになられた本製品の特長を次に示します。

- 17 型 LCD、日本語配列108キーボード(テンキーあり)、タッチパッド(スクロール機能あり)を備えており、19 インチ EIA 規格ラックに高さ 1U のスペースで収納できます。
- 17 型 TFT カラー液晶、SXGA の解像度(1280×1024)が表示可能です。
- LCD を閉じた際には自動的に LCD のバックライトを OFF にして消費電力を削減します。
- 本製品に標準搭載されている日本語キーボードをオプションの N8143-86 キーボードユニット(EN)または N8143-87 キーボードユニット(UK)と交換することで英語 OS に対応が可能です。
- 本製品に標準搭載されている日本語キーボードや N8143-86 キーボードユニット(EN)や N8143-87 キーボードユニット(UK)は工具を使わずに交換が可能です。
- N8191-12 または N8191-13 を接続する事ができます。
- N8191-12 を 9 台使用してカスケード接続すると1～64 台のサーバが、N8191-13 を 5 台使用してカスケード接続すると、1～16 台のサーバが選択できます。N8191-12 と N8191-13 の混在接続も可能で、共通の OSD(On Screen Display) 表示で画面を見ながら切り替えが可能です。
- 本製品に接続した N8191-12 や N8191-13 のホットキーモードは、本製品の『Hot-Key』ボタンまたは 3 種類のキー入力(<Ctrl>+<Alt>+<Shift>、<Fn> + <[Num Lk/Scr Lk]> x2 または、<Ctrl x2>)で入ることができます。
ホットキーモードに入るキー操作が他のアプリケーション等で重複して使用されている場合でもいずれかの手段で重複キーを回避できますので、より有効的にホットキーが活用できます
- 本製品に N8191-12 や N8191-13 を接続している場合には、N8191-12 や N8191-13 のホットキーモードに入っている状態で『Hot-Key』ボタンを押下すると、ホットキーモードを抜けて通常画面に戻ります。
- コンソール部のスライドレールはコンソール部を引き出すと固定され、左右のロック解除レバーを押す事で解除される機構となっています。このため不用意にコンソールを収納することはなく、LCD やタッチパッドなどがラックに搭載されている他の製品にぶつかることはありません。

4. 各部の名称と機能

本製品の各部の名称を次に示します。

4.1 本製品前面



① スライドレール

LCD コンソールをラックから引き出したり収納したりするためのスライドレールです。

② LCD ロック

LCD を固定する為のレバーです。

③ LCD ハンドル

LCD の開閉時やラックから LCD コンソールを引き出したり収納したりする時に LCD ハンドルを持って操作します。

④ LCD パネル

サーバの状態、LCD の OSD 画面、外付けした SSU の OSD 画面を表示します。

⑤ LCD 操作スイッチ

LCD の電源を ON/OFF や、LCD 用の OSD 画面を表示して LCD の調整ができます。

⑥ Hot-Key ボタン

本製品に接続した SSU のリセット、外付けした SSU の OSD 画面を呼び出す等の操作ができます。

⑦ キーボード LED／Reset スイッチ

キーボードの状態表示、本製品のキーボード・タッチパッドのリセット、本製品に接続した SSU のリセット等の操作ができます。

⑧ USB ポート

Express サーバ純正オプションの USB キーボード、USB マウスや USB Flash を接続することができます。



- ・ サーバと USB I/F で接続した場合のみ使用可能です。
- ・ Express サーバ純正オプションの USB キーボード、USB マウスおよび USB Flash 以外の USB デバイスは接続できません。万が一サポートしていない USB デバイスを接続した場合、デバイスを認識できない場合があります。
- ・ 本製品に SSU(N8191-12 や N8191-13 等)を USB 接続している場合、USB ポートを使用する事はできません。

⑨ キーボード

日本語配列の 108 キーボード(N8143-85 キーボードユニット(JP)相当)です。サーバの操作や本製品に接続した SSU の OSD 画面操作ができます。

オプションの N8143-86 キーボードユニット(EN)または N8143-87 キーボードユニット(UK)と交換することで英語 OS に対応が可能です。

⑩ タッチパッド

スクロール機能を持つ3ボタンタッチパッド。

サーバの操作、本製品に接続した SSU の OSD 画面操作等ができます。

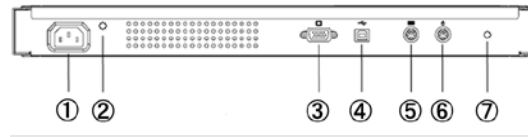
⑪ ラッチレバー

LCD コンソールをラックに収納した際に固定しておく為のレバーです。レバーを下げると LCD コンソールを引き出す事が可能になります。

⑫ ケーブルアーム

キーボード・タッチパッドのケーブルおよび LCD の VGA ケーブルと電源ケーブルを収納したケーブルアームです。

4.2 本製品背面



① 電源コネクタ

添付の電源コードを接続します。

② 電源コードクランプ穴

電源コードの抜けを防止する為に、添付のケーブルクランプを使用して電源コードを固定します。

③ VGA コネクタ

サーバまたは外付けした SSU のコンソール VGA コネクタに添付の VGA ケーブルを使用して接続します。

④ USB コネクタ

サーバまたは SSU のコンソール USB コネクタに添付の USB ケーブルを使用して接続します。

⑤ PS/2 キーボード コネクタ

サーバまたは SSU のコンソール PS/2 キーボード コネクタに添付の PS/2 KB ケーブルを使用して接続します。

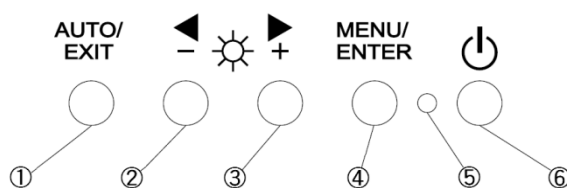
⑥ PS/2 マウスコネクタ

サーバまたは SSU のコンソール PS/2 マウス コネクタに添付の PS/2 MS ケーブルを使用して接続します。

⑦ ケーブルクランプ穴

USB ケーブルや PS/2 KB ケーブル、PS/2 MS ケーブルの抜けを防止する為に、添付のケーブルクランプを使用して、ケーブルを固定します。

4.3 LCD 操作スイッチ



① AUTO/EXIT ボタン

LCD の OSD 画面が表示されていないとき(ホットキー機能)

自動調整 (POSITION と FOCUS) を実行します。

LCD の OSD 画面が表示されているとき

LCD の OSD 画面の消去、調節項目の取り消し、設定値の取り消しなど、現在表示中の LCD の OSD 画面内の項目をリセットして設定前の画面を表示します。



画面のノイズは LCD の OSD 画面の FOCUS および CLOCK の調整で除去できる場合があります。

② ←ボタン

LCD の OSD 画面が表示されていないとき(ホットキー機能)

画面の明るさ (BRIGHTNESS) を直接調整できます。

LCD の OSD 画面が表示されているとき

「MENU/ENTER」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押してお好みの画面設定に調整できます。

③ →ボタン

LCD の OSD 画面が表示されていないとき(ホットキー機能)

画面の明るさ (BRIGHTNESS) を直接調整できます。

LCD の OSD 画面が表示されているとき

「MENU/ENTER」ボタンで調節項目を選んだあと、このボタンを押してお好みの画面設定に調整できます。

④ MENU/ENTERボタン

LCD の OSD 画面が表示されていないとき(ホットキー機能)

LCD の OSD のメニュー画面を表示します。

LCD の OSD 画面が表示されているとき

調整項目の決定、設定値保存が出来ます。

⑤ 電源ランプ

LCD の電源が入っていると青色に点灯し、省電力時は橙色に点灯し、電源が OFF の時は消灯します。

(キーボード/タッチパッドの電源は操作できません。)

⑥ 電源ボタン

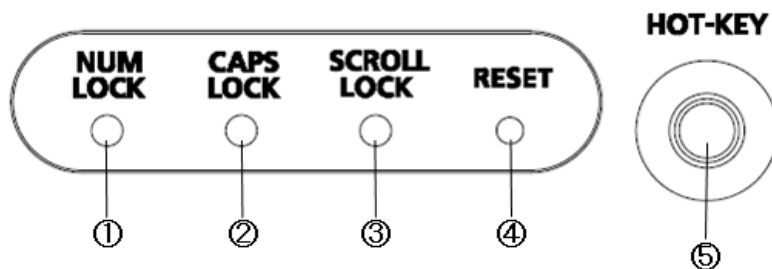
LCDの電源をON／OFFする操作ができます。

(キーボード／タッチパッドの電源は操作できません。)



電源を短時間の間に頻繁に ON/OFF しないでください。故障の原因となる恐れがあります。

4.4 キーボード LED と Hot-Key/Reset スイッチ



① Num Lock ランプ

キーボードの Num Lock が有効になっている場合に点灯します。『Num Lock』キーを押下する事により点灯・消灯します。

② Caps Lock ランプ

キーボードの Caps Lock が有効になっている場合に点灯します。『Caps Lock』キーを押下する事により点灯・消灯します。

③ Scroll Lock ランプ

キーボードの Scroll Lock が有効になっている場合に点灯します。『Scr Lk』キーを押下する事により点灯・消灯します。

④ Reset スイッチ

安全ピンの先等で押下することによって、キーボード・タッチパッドをリセットします。またサーバ側のキーボード／タッチパッドの動作モードはリセット後も保持されます。



- SSU を接続している場合には SSU もリセットする事ができます。
- USB ケーブルを使用してサーバに接続している場合は、Reset スイッチを 5 秒以上押し続ける事により USB インタフェースのリセットが可能です。

⑤ Hot-Key ボタン

SSU を接続している場合に、SSU の OSD 画面を表示・消去できます。

・通常画面で Hot-Key ボタンを 1 回押した場合は SSU の OSD 画面を表示します。

(『Ctrl』+『Alt』+『Shift』の同時押下と同じ)

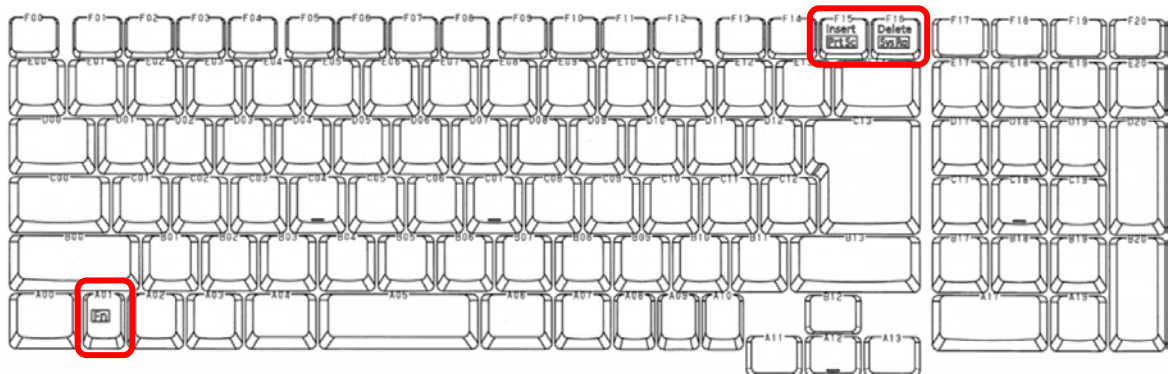
・SSU の OSD 画面で Hot-Key ボタンを 1 回押した場合は、SSU の OSD 画面を消去します。



SSU を接続している場合にのみ使用できる機能です。

4.5 キーボード

本製品のキーボードは<Fn>キーとの組み合わせにより、フルキーボードと同等の操作が可能です。



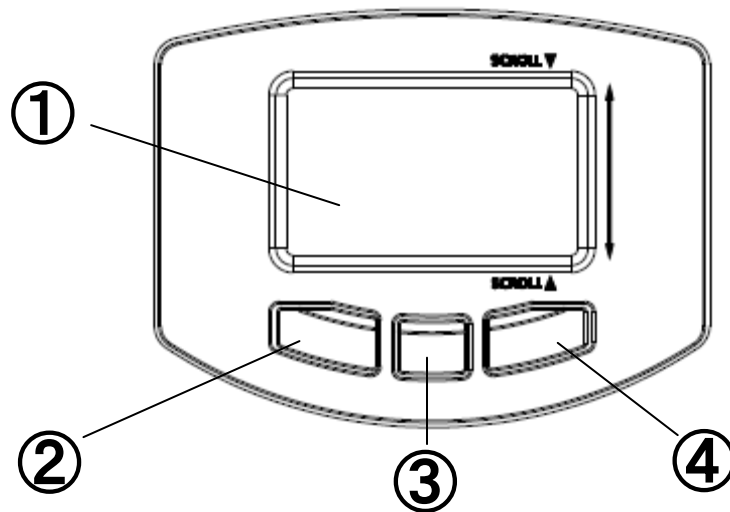
<Fn>キーとの組み合わせで使用する機能は下記の通りです。

PrtSc	Fn	+	Insert/PrtSc	Sys Rq	Fn	+	Delete/SysRq
-------	----	---	--------------	--------	----	---	--------------



本製品に標準実装されているキーボードは、日本語配列の 108 キーボード (N8143-85 キーボードユニット (JP) 相当) です。
オプションの N8143-86 キーボードユニット (EN) または N8143-87 キーボードユニット (UK) と交換することで英語 OS に対応が可能です。

4.6 タッチパッド



① タッチパッド操作面

タッチパッド操作面で軽く指を滑らせると画面上のポインタが移動します。

タッチパッド操作面を軽く、1回叩くと左ボタンのシングルクリック操作に、2回叩くとダブルクリック操作になります。

タッチパッド操作面を軽く2回叩き、そのまま指を離さずに滑らせることでドラッグ操作になります。

タッチパッド操作面の右端を上下に指を滑らせるとスクロール操作になります。

② 左ボタン

指定やショートカットなどを選択する場合に押します。

タッチパッド操作面との組み合わせでドラッグ操作も行えます。

③ 中ボタン

3ボタンマウスの中ボタンと同様の機能です。

④ 右ボタン

ショートカットなどを表示する場合に押します。



① タッチパッドは1本の指で操作するように設計されています。以下のような場合には操作できません。

- 手袋をしたままで操作
- ペン、ボールペン、鉛筆等での操作
- 2本以上の指での操作
- 指以外の物をタッチパッド操作面に載せたままでの操作

② 以下の条件では正常に操作できない場合があります。十分乾燥させるか、ふき取ってから使用してください。

- 操作面が濡れている場合
- 結露している場合
- 指が濡れている場合
- 汗で指が湿っている場合

③ ペンなどの先のとがった金属等で操作しないでください。傷や故障の原因となります。

NEC Express5800 シリーズ 17 型 LCD コンソールユニット

2

準 備

本製品を使用する前に準備が必要な内容について、説明します。

1. 設置と接続(34 ページ)

本製品の設置にふさわしい場所や接続について、説明しています。

1. 設置と接続

本製品の設置と接続について説明します。



1.1 設 置



本製品は、EIA規格に適合したラックに取り付けて使用します。

1.1.1 ラックの設置

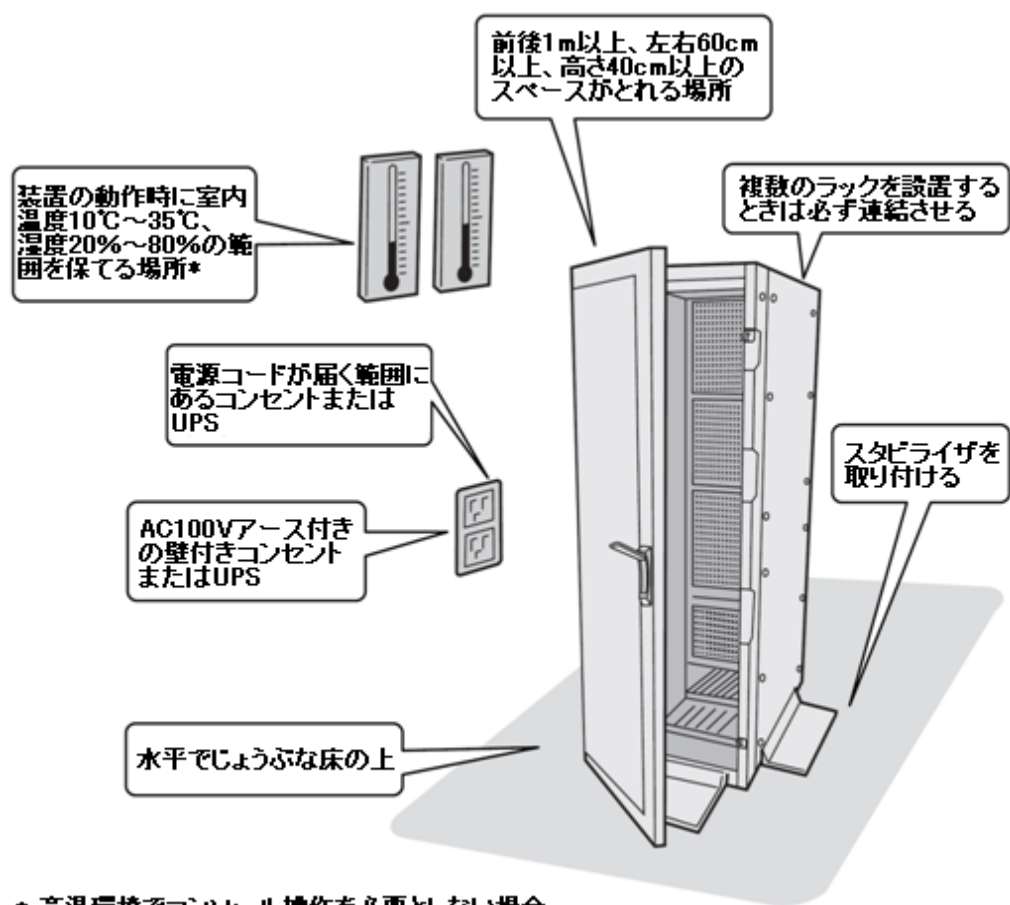
ラックの設置については、ラックに添付の説明書を参照するか、保守サービス会社にお問い合わせ下さい。

ラックの設置については、次の事項を必ずお守りください。

 警告	
	<p>Express サーバや周辺装置を安全にお使いいただくために、次の注意事項を必ずお守りください。</p> <p>指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、「使用上のご注意」をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 指定以外の場所で使用しない。■ アース線をガス管につながない

 注意	
	<p>Express サーバや周辺装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。</p> <p>指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、「使用上のご注意」をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none">■ 一人で搬送・設置しない。■ 荷重が集中してしまうような設置はしない。■ 一人でサーバの取り付けをしない。■ ラックが不安定な状態で装置をラックから引き出した状態にしない。■ 複数台の製品をラックから引き出した状態にしない。■ 定格電源を超える配線をしない。

本製品の設置にふさわしい場所は次の通りです。



* 高温環境でコンソール操作を必要としない場合は、本製品をラックに収納して運用して下さい。



発熱量の大きい製品を複数台搭載したり、ラック内部の通気が不十分だったりすると、ラック内部の温度が各製品から発する熱によって上昇し、Express サーバ製品の動作保証温度(10℃～40℃)を超え、誤動作してしまうおそれがあります。運転中にラック内部の温度が保証範囲を超えないようラック内部、および室内のエアフローについて十分な検討と対策をしてください。

ラックを設置する場合は、次に示す条件に当てはまるような場所には、設置しないでください。これらの条件下で、ラックを設置したり、ラックに本製品を搭載したりすると、誤動作の原因となります。

- 各装置や周辺装置をラックから完全に引き出せないような狭い場所。
- ラックや搭載する各装置の総重量に耐えられない場所。
- スタビライザが設置できない場所や耐震工事を施さないと設置できない場所。
- 床におうとつや傾斜がある場所。
- 温度変化の激しい場所（暖房機、エアコン、冷蔵庫などの近く）。
- 強い振動の発生する場所。
- 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する場所。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている場所。
- 薬品類の近くや薬品類がかかるおそれのある場所。
- 帯電防止加工が施されていないじゅうたんを敷いた場所。
- 物の落下が考えられる場所。
- 強い磁界を発生させるもの（テレビ、ラジオ、放送/通信用アンテナ、送電線、電磁クレーンなど）の近く（やむを得ない場合は、保守サービス会社に連絡してシールド工事などを行ってください）。
- 本製品の電源コードを他の接地線（特に大電力を消費する装置など）と共有しているコンセントに接続しなければならない場所。
- 電源ノイズ（商用電源をリレーなどで ON/OFF する場合の接点スパークなど）を発生する装置の近く（電源ノイズを発生する装置の近くに設置するときは電源配線の分離やノイズフィルタの取り付けなどを保守サービス会社に連絡して行ってください）。

1.1.2 ラックへの取り付け

以下の手順に従い、本製品をラックに取り付けます。

⚠ 注意



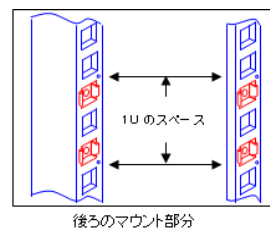
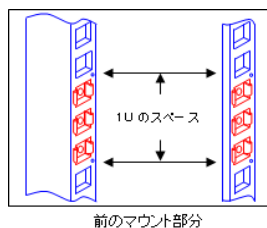
Express サーバや周辺装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。

指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、「使用上のご注意」をご覧ください。

- 指定以外の場所に設置しない。
- ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟んだり切ったりしないよう十分注意してください。
- 本製品の重量は 12kg あります。取り付けの際は二人以上で行ってください。
- 本製品を取り付ける際は、ラッチレバーが解除されないように注意してください。ラッチレバーが解除されていると不用意に本製品が引き出されてけがを負うおそれがあります。
- 本製品を持ち上げる際には LCD ハンドルを持たないでください。LCD だけが開いて本体が落下するおそれがあります。
- 雷が鳴り出したら、ケーブル類も含めて本製品には触れないでください。感電や火災の危険となります。

(1) ガイドレールの取り付け

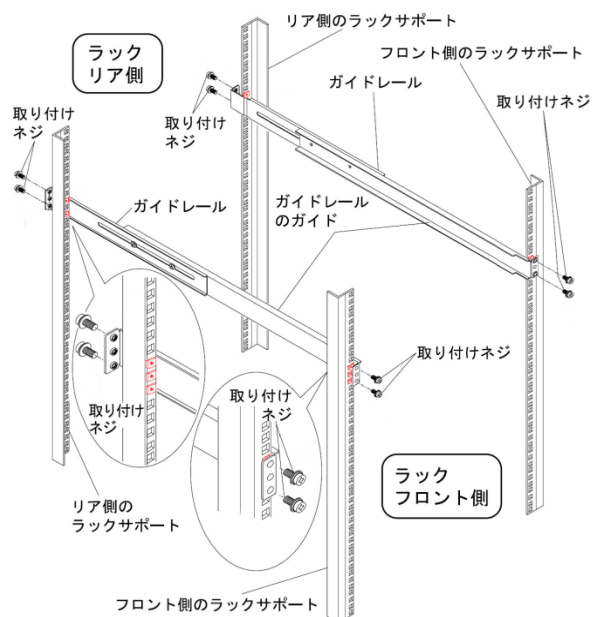
1. ラックにコアナットを取り付けます。ラックに添付されているコアナットを使用して、本製品を取り付ける 1U のスペースを確認し、前のマウント部分に6個(片側に3個)、後ろのマウント部分に4個(片側に2個)取り付けます。



コアナットを取り付ける位置は前と後ろのマウント部分の高さがそろえて取り付けてください。この時、ラックのマウントに刻印されている数字を目安にすると高さをそろえ易くなります。

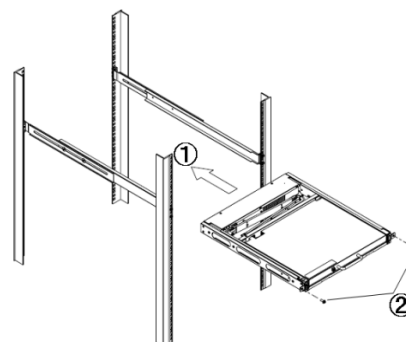
- ガイドレールの折り返し部分をラックに挟み込むようにしてラックにネジ止め(上下2箇所ずつ、合計 8 箇所)します。

ガイドレールは本製品を搭載する為のガイドがある方がラックの前方となり、スライドする方がラックの後方となるよう取り付けてください。

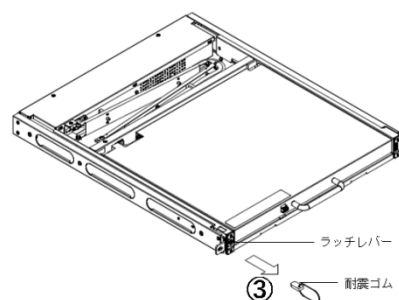


1.1.3 本製品の取り付け


- ガイドレール前方から本製品をレールに沿って入れます。(右図 ①の手順)
- 本製品を止まるまで押し込み、前面 2 箇所をネジで固定します。(右図 ②の手順)





- ラッチレバーを固定している耐震ゴム(③の手順)を取り外します。



耐震ゴムは、ラックに取り付ける際や移動中に本製品がスライドしないように差し込んであります。本製品をラックに取り付けた後も、移設や保管する場合などに必要となりますので、必ず保管しておいてください。


 **警告**





Express サーバや周辺装置を安全にお使いいただくために、次の注意事項を必ずお守りください。

指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、「使用上のご注意」をご覧ください。

- めれた手で電源プラグやコネクタを持たない。

 **注意**



Express サーバや周辺装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。

指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、「使用上のご注意」をご覧ください。

- サーバの電源が ON のままや、電源プラグを接続したままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない。
- 指定以外の電源コード・インタフェースケーブルを使用しない。
- 指定以外のコンセントに差し込まない。
- たこ足配線にしない。
- 中途半端に差し込まない。

本製品に添付の PS/2 KB ケーブル(1.8m)、PS/2 MS ケーブル(1.8m)、または USB ケーブル(1.8m)、および VGA ケーブル(1.8m)でサーバと接続します。

PS/2 KB ケーブル(1.8m)と PS/2 MS ケーブル(1.8m)は、本製品に接続する側とサーバに接続する側は共に PS/2 6pin コネクタ(オス)となっており、キーボード用が紫色で、タッチパッド用が緑色です。

USB 接続ケーブルは、本製品に接続する側が USB タイプ B コネクタで、サーバに接続する側が USB タイプ A コネクタとなっており、黒色のケーブルです。

VGA ケーブルは、本製品に接続する側とサーバに接続する側は共に D-Sub 15pin コネクタ(オス)となっており、黒色のケーブルでコネクタ部が青色です。



PS/2 KB ケーブルと PS/2 MS ケーブルまたは USB ケーブルのどちらを使用して Express サーバを本製品に接続するかは、接続する Express サーバのキーボード／タッチパッドが、PS/2 接続をサポートしているか、USB 接続をサポートしているか、によって決まります。

本製品には N8191-12 や N8191-13 を接続可能です。



N8191-12 や N8191-13 と本製品を接続する場合には、PS/2 KB ケーブル(1.8m)と PS/2 MS ケーブル(1.8m)または USB ケーブルのどちらを接続しても構いません。両方のケーブルを接続した場合にはキーボードやマウスパッドの操作は PS/2 接続が優先されます。

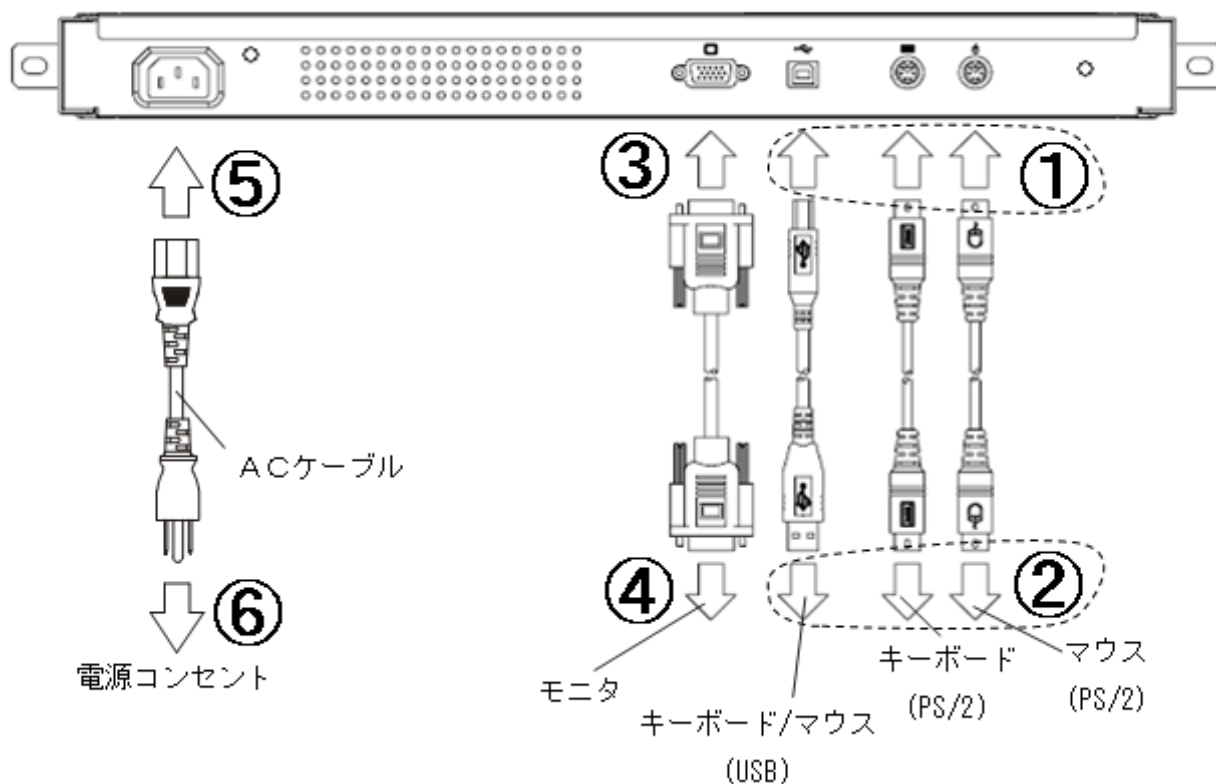
ケーブル接続手順



ケーブル接続時の注意

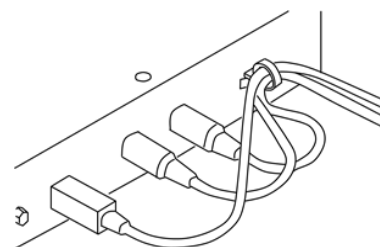
- 本製品やサーバおよび周辺装置の電源を OFF にしてからケーブル接続をしてください。ON のまま接続すると誤動作や故障の原因となります。
- PS/2 コネクタを接続する際は、コネクタの「△」マークを合わせてから差し込んでください。
- LCD 用コネクタを接続する際には、LCD 用コネクタの固定ネジを締めて、確実に本製品およびサーバに接続してください。確実に接続していない場合には画像が乱れたり、映らない等のおそれがあります。
- 本製品には K410-104A ケーブルや K410-230 ケーブルを使用する事はできません。

次の手順に従ってケーブルを接続します。



ケーブル接続例

1. 添付の PS/2 KB ケーブル(1.8m)を PS/2 キーボードコネクタに、PS/2 MS ケーブル(1.8m)を PS/2 マウスコネクタに接続します。サーバと USB 接続する場合は、添付の USB ケーブルを USB コネクタに接続します。(ケーブル接続例 ①の手順) ケーブルはまとめてケーブルクランプで固定します。



2. 添付の PS/2 KB ケーブルをサーバの PS/2 キーボードコネクタに、PS/2 MS ケーブル(1.8m)をサーバの PS/2 マウスコネクタに接続します。サーバと USB 接続する場合は、添付の USB ケーブルのタイプ A コネクタをサーバに接続します。

(ケーブル接続例 ②の手順)

3. VGA ケーブルを本製品の VGA コネクタに接続します。

(ケーブル接続例 ③の手順)

4. VGA ケーブルをサーバの VGA コネクタに接続します。

(ケーブル接続例 ④の手順)

5. 電源コードを電源コネクタに接続し、ケーブルクランプで固定します。

(ケーブル接続例 ⑤の手順)



本製品に添付されている電源コード以外のコードを使用しないでください。

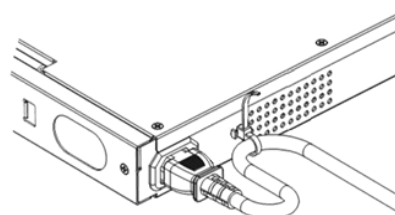
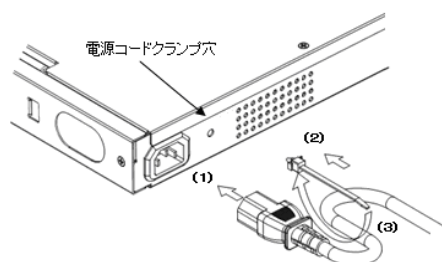
ケーブルクランプの余長は、はさみ等でカットしてください。

電源コードを固定する際のケーブルルートはケーブルクランプ取り付け手順を参照してください。

電源コードを取り外す際には、ケーブルクランプのフックをつまみながら、ケーブルクランプを引き抜いてください。

・ ケーブルクランプ取り付け手順

- (1) 電源コードを電源コネクタに差し込みます。
- (2) ケーブルクランプを電源コードクランプ穴に差し込みます。
- (3) 電源コードをケーブルクランプで固定します。



6. 電源プラグをコンセントに接続します。

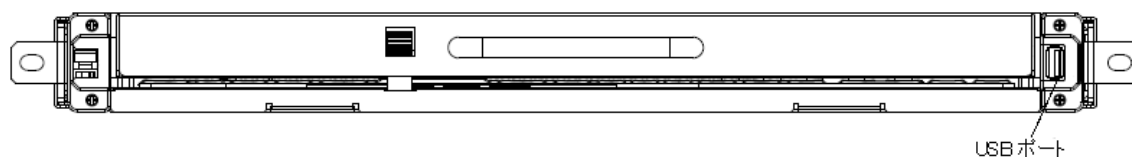
(ケーブル接続例 ⑥の手順)

7. 正しく接続されている事を確認した後、サーバを起動します。
8. サーバが起動したら、LCD、タッチパッド、キーボードの設定・確認を行ってください。設定を変更した場合はサーバを再起動してください。



LCD 設定方法は 50 ページを参照してください。

1.1.5 USB ポートへの接続について



本製品前面の USB ポートには USB ポートを1つ装備しています。

この USB ポートは本製品とサーバを USB I/F で接続した場合のみ使用が可能です。

USB ポートには Express サーバ純正オプションの USB キーボードと USB マウス、および USB FlashFDD のみが接続できます。それ以外の USB 機器を接続した場合には、認識されない場合や、認識しても正常に動作出来ない場合があります。



重要

本製品の USB ポートを使用される際には以下に注意して使用してください。

- サーバと USB I/F で接続した場合のみ使用可能です。
- USB キーボードや USB マウスを使用される場合には、本製品のキーボードの上に USB キーボードや USB マウスを載せないでください。
- USB キーボードや USB マウスを使用して本製品をラックに収納する際には、USB キーボードや USB マウスを取り外してから収納してください。
- USB コネクタに接続した製品は本製品から飛び出しています。ぶつかったり、引っ張ったりしないよう注意してください。
- 本製品に SSU(N8191-12 や N8191-13 等)を USB 接続している場合、USB ポートを使用する事はできません。

1.1.6 UPS との接続について

本製品に接続するサーバの電源が UPS(無停電電源装置)から供給されている場合は、本製品の電源も UPS から供給することを推奨します。



ヒント

UPS に本製品を接続する場合は、システム内で最初に起動する UPS に接続してください。本製品に接続したサーバが本製品より先に起動すると本製品が誤動作する可能性があります。

NEC Express5800 シリーズ 17 型 LCD コンソールユニット

3

セットアップ

本製品のセットアップについて説明します。

1. ご使用前の準備や設定(47 ページ)

本製品のコンソールの引き出し方法を説明しています。

注意



Express サーバや周辺装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。

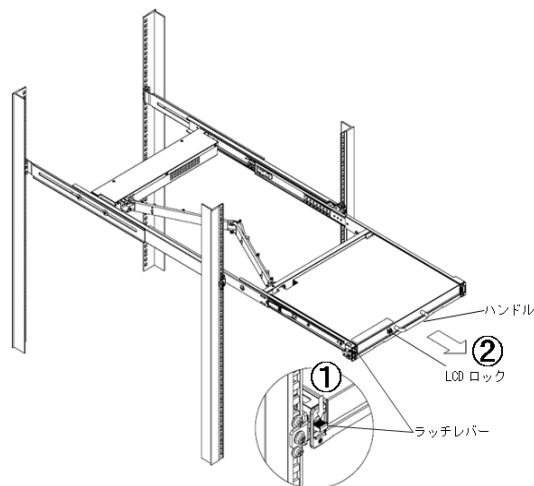
指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、「使用上のご注意」をご覧ください。

- 本製品をご使用される際には、スライドレールがロックされるまでゆっくり手前に引き出してください。
- 本製品を引き出して使用している場合には、本製品により掛かったりぶら下がったりしないでください。スライドレールのロックが掛かっていないでより掛かったりぶら下がったりするとけがを負うおそれがあります。
- コンソールを引き出したたり、押し込んだりする際やコンソールの開閉時は、手や指を挟まないよう十分注意してください。
- LCD の画面を強く押したり、硬いものでこすったり、磁石を近づけたりしないでください。破損や故障の原因となります。
- 本製品を引き出して使用されている間は本製品の角などにぶつからないよう注意してください。けがを負うおそれがあります。
- 本製品を使用していない時は引き出したままにしないでください。本製品の角などにぶつかりけがを負うおそれがあります。
本製品を使用しない場合はラックに収納することを推奨します。
- コンソールを引き出す際には、スライドレールをロックが掛かるまで引き出して下さい。
- コンソールを収納する際には、LCD を確実に閉じてからスライドレールのロックを外し収納して下さい。

1. ご使用前の準備や設定

1.1 コンソール引き出し方法

1. 本製品の前面左側のラッチレバーを左手で押し下げながら(①の操作)、右手でハンドルをもってコンソールをカチッと音がするまで引き出します(②の操作)。

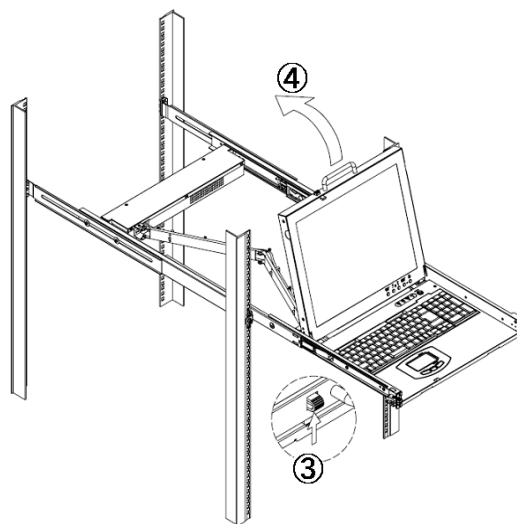


- 本製品の前面両脇のネジ(左右1箇所)がラックに固定されていることを確認してから引き出してください。
- 耐震ゴムを引き抜いていない場合は、耐震ゴムを引き抜いてから操作を行ってください。



コンソールを引き出す際にはスライドレールのロックが掛かるまで(カチッと音がする)引き出してください。

2. LCD ハンドル左側の LCD ロックを押し上げて(③の操作)、LCD ハンドルを持って LCD を上に開きます(④の操作)。



LCD は完全に引き起こしてご使用ください。

3. LCD の電源が OFF の場合には電源ボタンを押し、LCD の電源を ON にします。
4. 本製品に接続したサーバの電源を入れます。

注意



Express サーバや周辺装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。

指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、「使用上のご注意」をご覧ください。

- 収納の際にガイドレールやスライドレールおよび本体に指や手を挟まない。
- ラッチレバーが掛かっていない状態にしない。
- タッチパッドをタッチパッド収納部から出したまま LCD を閉じない。

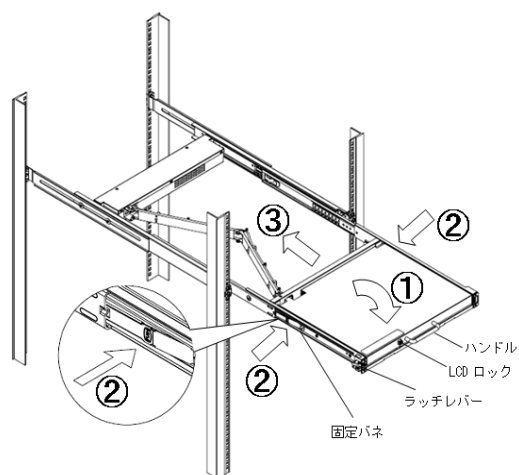


本製品の LCD を長時間使用しない場合は、省電力の為や LCD の寿命を延ばす為に LCD の電源を OFF することをお勧めします。LCD の電源を OFF してもキーボードおよびタッチパッドはサーバから電源を供給されるので影響はありません。

また本製品をラックに収納した場合、自動的に LCD の電源は OFF となります。この時、キーボードおよびタッチパッドにはサーバから電源が供給されるので動作に影響はありません。

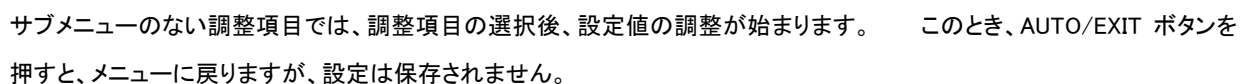
LCD やキーボード・タッチパッドを使わない場合は、コンソールをラックに格納することができます。

1. LCD ハンドルを持ってゆっくりと LCD ロックが掛かるまで LCD を閉じます。(①の操作)
2. スライドレールの固定バネ(両側にあります)を押してロックを外し(②の操作)ながら、ハンドルを持ちコンソールをラックに押し込み(③の操作)、ラッチレバーのロックが掛かった事を確認します。



- LCD ロックが確実にロックされて LCD が開かない事を確認してください。
- コンソールをラックに収納する際には LCD を閉じてからスライドレールのロックを外してください。

(1) LCD の OSD メニューの流れ



ただし、LCD の OSD 画面を表示せずに『▶+』ボタンや『◀-』ボタンを押して画面の明るさ(BRIGHTNESS)を調整した場合、設定値を変更する毎に保存されます。

(2) LCD の OSD 画面での調整項目

記号	英語表示	調整内容
	BRIGHTNESS	画面の明るさを調整します。
	CONTRAST	画面の濃淡の強さ(コントラスト)を調整します。
	COLOR	画面の表示色を調整します。固定値の設定や赤/緑/青の色あいを個別に設定できます。
	H POSITION	表示位置を左右方向に調整します。
	V POSITION	表示位置を上下方向に調整します。
	CLOCK	帯状(縦)のノイズが発生する場合に調整します。
	FOCUS	文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します。
	sRGB	sRGB の ON/OFF の切り替えができます。
	GRADATION	コントラストカーブの切り替えができます。中間調での表現を変えることができます。
	BLACK LEVEL	黒色のオフセット基準を任意に設定できます。
	TEXT MODE	DOS 画面表示時の解像度を設定できます。英語 DOS 時は、720×400 を選択してください。
	LANGUAGE	モニタ OSD 画面での表示言語を変更します。 (英語、ドイツ語、イタリア語、フランス語、スペイン語)
	INFORMATION	現在表示されている解像度、垂直同期周波数および各種調整項目(一部を除く)の設定値を表示します。
	RECALL	ご購入時の設定値に戻します。 ・READJUSTING 全項目に戻します。 ・GEOMETRY 表示している解像度(モード)の画面位置、クロックおよびフォーカスに戻します。 ・COLOR ブライトネス、コントラスト、黒レベル、およびカラー調整に戻します。

(3) 解像度とリフレッシュレート

本製品の LCD は、下表に示すタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定します。サーバに接続すると、自動的に適切な画面設定で表示します。ただし、サーバによっては画面表示にちらつきやにじみが生じることがあります。また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。その場合は LCD の画面調整を行ってください。この場合、調整後の画面情報の設定は記憶されます。

<工場プリセットタイミング>

解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	モード
640 × 400	31.5	70	VGA 400 Line
640 × 480	31.5	60	VGA Standard
	37.5	75	VESA
	37.9	72	
720 × 400	31.5	70	
800 × 600	35.2	56	
	37.9	60	
	46.9	75	
	48.1	72	
1024 × 768	48.4	60	
	56.5	70	
	60.0	75	
1280 × 1024	64.0	60	
	80.0	75	



LCD 表示について

- 電源を ON した直後や OS 起動時または終了時には画面の表示位置がずれたり、画面が点滅したり、乱れたりすることがありますがこれらの事象は故障ではありません。
- 1280 × 1024 以外の解像度でもフルスクリーンでの表示となります。1280 × 1024 以外の解像度では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったりすることがあります。これは、擬似的に拡大表示（フルスクリーン表示）しているためであり、故障ではありません。
- 画面上の一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合がありますが、LCD の特性であり、故障ではありません。

(4) 設定時における LCD 表示の注意事項

システム設置時、あるいは接続するサーバを変更した際には、接続するサーバの種類により表示位置などが多少ずれることがあります。その場合は、画面全体を出来るだけ明るい画面にしてから、AUTO/EXIT ボタンを押して画面の自動調整をおこなってください。

自動調整後に下記症状が出る場合は、「対処方法」により再調整をお願いします。



LCD の特性により自動調整で調整できない場合があります。LCD の故障ではありません。

症状	考えられる原因	対処方法
格子状の表示画面がちらつく。	FOCUS が合っていない。	FOCUS を調整してください。
縦帯状の縞模様が見えることがある。	画面サイズ (CLOCK) と FOCUS の調整が適切でない。	CLOCK の調整をした後 FOCUS も調整してください。
文字の輪郭がはっきり見えない箇所がある。	FOCUS が合っていない。	FOCUS を調整してください。
黒画面にサワサワノイズが見える。	黒レベルが合っていない。	BLACK LEVEL を調整してください。

(5) Linux をご使用の場合について

本製品を Linux でご使用される場合において、X-Window System の設定については、以下の解像度・リフレッシュレート・表示色でを使用することを推奨します。

ディストリビューション	推奨値		
	解像度	リフレッシュレート(Hz)	表示色
Turbolinux Server 日本語版 6.1	1024 × 768	70	65536
Turbolinux Server 6.5	1024 × 768	70	65536
Turbolinux 7 Server	1024 × 768	75	—
Turbolinux 8 Server	1024 × 768	75	—
RED HAT LINUX 7J PROFESSIONAL SERVER	1024 × 768	70	65536
Red Hat Linux 7.2 Professional	1024 × 768	75	—
Red Hat Linux 7.3	1024 × 768	75	—
Red Hat Linux 8.0	1024 × 768	75	—
Red Hat Linux 9	1024 × 768	75	—
Red Hat Enterprise Linux AS (v. 2.1)	1024 × 768	75	—
Red Hat Enterprise Linux ES (v. 2.1)	1024 × 768	70	—
Red Hat Enterprise Linux AS (v. 3)	1024 × 768	75	—
Red Hat Enterprise Linux ES (v. 3)	1024 × 768	75	—



Linux での設定について

- 推奨値以外の設定では、画面が乱れたり、表示できなかったりする場合があります。
- Linux OSに添付されているリリースノートをご確認の上、適切な設定でご使用ください。

NEC Express5800 シリーズ 17 型 LCD コンソールユニット

4

保 守

本製品の運用などにおいて、点検、保守、またはトラブルが起きたときの対応方法について説明します。

1. 譲渡・移動・廃棄(56 ページ)

第三者 への譲渡、移動、廃棄および保管について説明します。

2. 日常の保守(58 ページ)

日常使う上で確認しなければならない点、およびクリーニングについて 説明します。

3. ユーザーサポート(60 ページ)

本製品に関するさまざまなサービスについて説明します。サービスは、弊社、および弊社が認定した保守サービス会社が提供しています。

4. 障害情報の採取(63 ページ)

本製品が故障したとき、故障の箇所、原因等を診断するために必要となる情報を一覧にしています。万が一故障が起きた際に参照してください。

5. トラブルシューティング(65 ページ)

故障かな? と思ったときに参照してください。トラブルの原因とその対処方法について説明します。

1. 譲渡・移動・廃棄

1.1 第三者への譲渡

本製品、または本製品に添付されているものを第三者に譲渡(または売却)するときは、次の注意を守ってください。

- **本製品について**


第三者へ譲渡(または売却)するときは、添付品一式(電子マニュアルを含む)を一緒にお渡しください。


1.2 本製品の廃棄

- **本製品には、金属、プラスチック部品、液晶、蛍光管を使用しており、蛍光管の中には水銀をしようしております。本製品の廃棄については、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。なお、添付の電源コードにつきましても、他の製品への誤用を防ぐため、本製品と一緒に廃棄してください。**

1.3 移動と保管


本製品を移動・保管するときは次の手順に従ってください。


 **警告**



本製品を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、「使用上のご注意」をご覧ください。

- 指定以外の場所に設置しない。
- 自分で分解・修理・改造はしない。
- 電源プラグを差し込んだまま取り扱わない。

 **注意**



本製品を安全にお使いいただくために次の注意事項をお守りください。指示を守らないと火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、「使用上のご注意」をご覧ください。

- 中途半端に取り付けない。
- 落下注意。
- 製品をラックから引き出した状態のまま使わない。
- 指を挟まない。
- ラックに設置する際などに指を挟まない。
- ラックが不安定な状態で製品をラックから引き出さない。
- 複数台の製品をラックから引き出さない。



- フロアのレイアウト変更など大掛かりな作業のときは、お買い上げの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。
- 本製品を保管するときは、保管環境条件（温度：-10℃～55℃、湿度：20%～80%、ただし結露しないこと）を守ってください。

1. 設置と接続を参照して、本製品から電源コード、インタフェースケーブルを取り外す。ラックに設置している場合はラックから取り外す。



ケーブルを取り外す際は、必ず電源コンセントから全ての電源コードを抜いた後にインタフェースケーブルを取り外してください。



2. 購入時の梱包箱と梱包材を使用して、本製品を梱包する。
梱包材が無い場合は、本製品に傷がついたり、衝撃や振動を受けたりしないよう緩衝材などを使用して本製品をしっかりと梱包してください。



寒い場所から暖かい場所に持ち込むと結露が発生し、そのまま使用すると誤動作や故障の原因となります。本製品の移動後や保管後、再び運用する場合は、使用環境に十分なじませてからお使いください。

2. 日常の保守

本製品を常にベストな状態でお使いいただくために、ここで説明する確認や保守を定期的に行ってください。万が一、異常が見られた場合は、無理な操作をせずに保守サービス会社へ保守を依頼してください。

 警告	
	<p>本製品を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。指示を守らないと火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、「使用上のご注意」をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 自分で分解・修理・改造はしない。● 電源プラグを差し込んだまま取り扱わない。

2.1 クリーニング

本製品を良い状態に保つため、定期的にクリーニングしてください。

2.1.1 本製品のクリーニング

本製品の外観の汚れは、柔らかい布でふき取ってください。汚れが落ちにくいときは、次のような方法できれいにしてください。



- シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤は使わないでください。材質のいたみや変色の原因になります。
- コンセント、インタフェースケーブル、本製品背面のコネクタは絶対に水などでぬらさないでください。

1. 本製品のステータス LED が全て消灯し、本製品を含むシステム全体の電源が OFF (POWER ランプが消灯) になっていることを確認する。
2. 電源コードをコンセントから抜く。
3. 電源コードの電源プラグ部分についているほこりを乾いた布でふき取る。
4. 中性洗剤をぬるま湯または水で薄めて柔らかい布を浸し、よく絞る。
5. 本製品の汚れた部分を手順4の布で少し強めにこすって汚れを取る。
6. 真水でぬらしてよく絞った布でもう一度ふく。
7. 乾いた布でふく。

2.1.2 キーボード、タッチパッドのクリーニング

1. サーバ本体および周辺機器の電源が全て OFF (POWER ランプが消灯) になっていることを確認する。
2. 本製品のキーボードやタッチパッドを乾いた柔らかい布などで拭いて、汚れを取り除いてください。

汚れがひどいときはぬるま湯、または水で薄めた中性洗剤を少量含ませて拭いてください。

2.1.3 LCD のクリーニング

1. サーバ本体および周辺機器の電源が全て OFF (POWER ランプが消灯) になっていることを確認する。
2. LCD の液晶部分のクリーニングは、ガーゼなどの乾いた柔らかい布か液晶モニタのクリーニング用の布を使用して軽く拭いてください。
3. LCD のカバー部分は乾いた柔らかい布などで拭いて、汚れを取り除いてください。

汚れがひどいときはぬるま湯、または水で薄めた中性洗剤を少量含ませて拭いてください。

3. ユーザーサポート

アフターサービスをお受けになる前に、保証とサービス内容について確認してください。

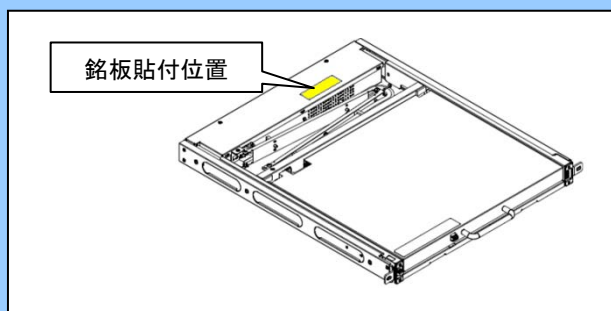
3.1 製品の保証

本製品には「保証書」が添付されています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認の上、大切に保管してください。保証期間中に故障が起きたときは、「保証書」の記載内容にもとづき無償修理いたします。詳しくは「保証書」と本書の「保守サービス」をご覧ください。

保証期間後の修理についてはお買い求めの販売店、最寄の弊社または保守サービス会社に連絡してください。



- 弊社以外（サードパーティ）の製品、または弊社が認定していない製品やインタフェースケーブルを使ったために起きた故障については、その責任を負いかねます。
- 本製品には、製品の製造番号などが記載された銘板が貼ってあります。製品の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、保証期間内に故障したときでも保証を受けられないことがありますのでご確認ください。万が一違うときは、販売店にご連絡ください。
- 銘板の貼り付け位置は下記の通りです。



3.2 保守サービス

保守サービスは、弊社の保守サービス会社、および弊社が認定した保守サービス会社によって実施されます。お客様が保守サービスをお受けになるときのご相談は、弊社営業担当または代理店で承っておりますのでご利用ください。保守サービスは、お客さまに合わせて2種類用意しております。

保守サービスメニュー

契約保守サービス	お客様のコールにより優先的に技術者を派遣し、修理にあたります。この保守方式は、製品に応じた一定料金で保守サービスを実施させていただくもので、お客様との間に維持保守契約を結ばさせていただきます。
未契約修理	お客様の障害コールにより技術者を派遣し、修理にあたります。保守または修理料金はその都度清算する方式で、作業の内容によって異なります。

「契約保守サービス」の詳細につきましては、次のサイトの「有償保守サービス」をご覧ください。

<http://support.express.nec.co.jp/pcserver/>



- サービスを受けるには、事前に契約を済ませてください。
- サービス料金は契約する日数/時間帯により異なります。

3.3 修理に出される前に

「故障かな？」と思ったら、次の確認をしてください。

1. 電源コードおよび他の製品に接続しているインタフェースケーブルが正しく接続されていることを確認します。
2. 「トラブルシューティング」を参照してください。該当する症状があれば記載されている対処を行ってください。
3. 本製品を操作するために必要となる設定がされていることを確認してください。

(本製品および接続している製品でそれぞれ必要な設定があります)

以上の確認をしてもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お買い求めの販売店、最寄の弊社または保守サービス会社にご連絡ください。

なお、故障時の各種ランプ表示、ディスプレイ表示状態や OSD 画面表示、本製品と接続されている様々な製品の接続構成や状態、さらに本製品に接続している製品のランプの表示やディスプレイ上に表示されたアラーム内容等の情報は修理の際に有用な情報となります。『4 章 保守の障害情報』の採取に必要な情報を記録してください。

保守サービス会社の連絡先については、Express サーバに添付のユーザーズガイドに記載の「保守サービス会社一覧」を参照してください。

なお、保証期間中の修理は、必ず保証書を添えてお申し込みください。



本製品は日本国内仕様のため、弊社の海外拠点では修理することはできません。

3.4 修理に出されるときは

修理にだされるときは、次のものを用意してください。

- ☐ 保証書
- ☐ 銘板に記載の情報(製品名、型番、製造番号(SERIAL No))
- ☐ 付録の(本製品の構成情報に)に記入できる情報

3.5 保守用部品

本製品の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

3.6 情報サービス

本製品に関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。

※ 電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

ファーストコンタクトセンター

TEL. 03-3455-5800(代表)

受付時間／9:00～12:00、13:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日を除く)

「エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)」のお申し込みに関するご質問・ご相談は「エクスプレス受付センター」でお受けしています。

※ 電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

エクスプレス受付センター

TEL. 0120-22-3042

受付時間／9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日を除く)

インターネットでも情報を提供しています。

[NEC コーポレートサイト]

<http://www.nec.co.jp/>

製品情報やサポート情報など、本製品に関する最新情報を掲載しています。

[NEC フィールドイング]

<http://www.fielding.co.jp/>

メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介します。

4. 障害情報の採取

4.1 構成情報

本製品の構成情報は修理の際に有用な情報となります。万が一の際に次項の表に必要な情報を記録して頂き、修理を依頼する際に添えてください。

対象製品名	N8143-83 の構成情報
KB,MS 接続コネクタ	PS/2 / USB
接続対象装置名	
接続対象装置 OS	
SSU 接続	なし / あり (SSU 型番: N8191-12 / N8191-13)
SSU カスケード接続	なし / あり (SSU 型番: N8191-12 / N8191-13)

注:SSU 接続時には SSU ユーザーズガイドの構成情報シートに記入してください。

4.2 修理時の情報

本製品の情報は修理の際に有用な情報となります。次項の表に必要な情報を記録して頂き、万が一の際にご利用ください。

ディスプレイの状態は？	
キーボードの操作は行えるか？	
タッチパッドの操作は行えるか？	
故障の内容	
故障に至るまでの操作内容	
その他	

5. トラブルシューティング

本製品が思うように動作しないときは、修理に出す前に、次のチェックリストを参照して本製品をチェックしてください。チェックリストに該当するような項目があるときは、記載の対処方法を試してみてください。

該当する項目がない場合や対策を行っても改善しない場合は、無理な操作をせず、お買い求めの販売店、最寄の弊社または保守サービス会社にご連絡ください。その際には「障害情報の採取」で採取した情報を合わせてご連絡いただくと、修理の際に有用な情報となることがあります。

5.1 POWER ランプ

[?] Powerランプが点灯しない。

- ☐ 電源コードが正しく接続されていますか？
 - 電源コードが正しく接続されていない可能性があります、41ページを参照してケーブル接続を確認してください。
 - 電源コードが本製品の電源規格に合ったコンセント(またはUPS)に接続されていることを確認してください。
 - 本製品に添付の電源コードを使用してください。また、電源コードの被覆が破れていたり、プラグ部分が折れていたりしていないことを確認してください。
 - 電源コードを接続したコンセントのブレーカがONになっている事を確認してください。
 - UPSに接続している場合は、UPSの電源がONになっていること、およびUPSから電力が出力されていることを確認してください。詳しくは、UPSに添付のユーザーズガイドを参照してください。
- ☐ 電源スイッチを入れましたか？
 - 電源スイッチが入っていない可能性がありますので確認してください。
- ☐ 本製品の電源コードが接続しているACタップのブレーカがOFFになっていたり、UPSがOFFになっていませんか？
 - ブレーカまたはUPSをONにしてください。

[?] Powerランプが橙色に点灯している。またはLCD操作スイッチのMENU/ENTERボタンを押すと「Power Saving」のメッセージが表示される。

- ☐ サーバのパワーマネージメント機能が有効になっていませんか？
 - サーバのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、タッチパッドを動かしてください。
- ☐ ケーブルが正しく接続されていますか？
 - ケーブルが正しく接続されていない可能性があります、41ページを参照してケーブル接続を確認してください。
- ☐ サーバの電源は入っていますか？
 - サーバの電源が入っていない可能性があります、サーバのLEDを確認してください。

[?] Powerランプは点灯するが画面が表示されない。または画面は表示されるが、「Out of RANGE
H:***kHz・V:***kHz SEE YOUR'S MANUAL」もしくは「NO SYNC SIGNAL SEE USER'S MANUAL」のメッセージが表示
される。

- 標準表示仕様以外の解像度またはリフレッシュレートになっていませんか？
→ サーバの設定を、標準表示仕様の解像度とリフレッシュレートに変更してください。。
- 本製品よりも先にサーバの電源をONしていませんか？
→ サーバを先に電源ONした場合には、サーバがLCDのモニタ情報を読み込む事ができません。サーバと同時またはサーバの電源をONにする前に本製品の電源をONにしてください。
- ケーブルが正しく接続されていますか？
→ ケーブルが正しく接続されていない可能性があります、41ページを参照してケーブル接続を確認してください。

5.2 本製品の機能

[?] ホットキーモードには入れない (SSUのOSDが表示されない)

- SSUは接続されていますか？
 - 本製品のHot-Keyボタンは本製品にSSUが接続された場合のみ機能します。SSUを接続していない場合にはキー入力を受け付けません。
- OS起動中にキーを押していませんか？
 - OS起動中はキー入力を受け付けません。OS起動後に再度キー入力してください。
- サーバのスクリーンセーバ機能が有効になっていませんか？
 - サーバのスクリーンセーバ機能を解除してください。
- サーバのスリープモードが有効になっていませんか？
 - サーバのスリープモードを解除してください。

[?] 今まで動いていたのに突然動かなくなった

- 本製品は正しく動作していますか？
 - 本製品のResetスイッチを押下してください。それでも改善しない場合は、本製品の故障が考えられます、保守サービス会社に連絡して交換を依頼してください。

5.3 サーバ操作

[?] 今まで動いていたのに突然動かなくなった。

- 本製品は正しく動作していますか？
 - 本製品のResetスイッチを押して、本製品を起動しなおしてください。それでも改善しない場合は、本製品の故障が考えられます。保守サービス会社に連絡して交換を依頼してください。

5.4 キーボード・タッチパッド

[?] キーボード、タッチパッドの動作がおかしい／動作しない。

- PS/2ケーブルまたはUSBケーブルはサーバ側のコネクタに正しく接続されていますか？
 - 41ページを参照してPS/2ケーブルまたはUSBケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
 - サーバの電源をONした後にキーボード、タッチパッドを接続しても正しく機能しません(USB接続時を除く)。一旦サーバ側の電源をOFFしてから正しく接続してください。
- キーボード、タッチパッドは認識されていますか？
 - Resetスイッチを押してください。それでも認識しない場合はサーバを再起動してください。
(再起動中にはキーボード、タッチパッドには触れないでください)
- ホットキーモードは解除されていますか？
 - ホットキーモードではサーバへのキー入力やタッチパッド操作ができません。
 <Enter>キーか<Esc>キーを押してホットキーモードを解除してください。
- USB接続している場合、キーボード／タッチパッドに関する設定は正しいですか？
 - サーバ側の設定を確認してください。
- タッチパッドの使用方法是正しいですか？
 - 32ページの「タッチパッド」を参照してタッチパッドの使用方法を確認してください。
- インタフェースケーブルは正しく接続されていますか？
 - 41ページを参照してケーブルの接続を確認してください。
 - ケーブルコネクタが破損していたり、コネクタピンが曲がっていたり汚れていたりしていないことを確認してください。
 ケーブルが破損している場合は保守サービス会社に交換を依頼してください。
- サーバのBIOS設定を間違えていませんか？
 - サーバのBIOSセットアップユーティリティでキーボードの機能を変更することができます。BIOSセットアップユーティリティで設定を確認してください。
- ドライバをインストールしていますか？
 - 使用しているOSに添付のマニュアルを参照してキーボードやタッチパッドのドライバがインストールされていることを確認してください(これらはOSのインストールの際に標準でインストールされています)。また、OSによってはキーボードやタッチパッドの設定を変更できる場合があります。使用しているOSに添付の説明書を参照して正しく設定されているか確認してください。
- OS起動中にキーを押していませんか？
 - OS起動中はキー入力を受け付けません。OS起動後に再度キー入力してください。
 - OS起動中にキー入力すると、フロントパネル上のSelectionスイッチも無効になってしまいます。万が一OS起動中にキー入力してしまった場合には、本製品のResetスイッチを押下してから再度Selectionスイッチを操作してください。

5.5 ディスプレイ表示

[?] 画質が劣化する（ゴーストや文字のにじみ等）

- インタフェースケーブルは正しく接続されていますか？
 - 41ページを参照して本製品のケーブル接続を確認してください。
 - ケーブルやコネクタが破損していたり、汚れたりしていないことを確認してください。ケーブルやコネクタが破損している場合は保守サービス会社に交換を依頼してください。
- 解像度の設定が間違っていないですか？
 - サーバの解像度設定、または50ページを参照してディスプレイの解像度設定を確認してください。
- SSUのMONITOR TYPEの情報は正しく設定しましたか？（本製品にSSUを接続している場合）
 - SSUのMONITOR TYPEの情報が正しく設定されていない場合にはサーバの解像度がディスプレイで表示できない設定で表示されてしまう場合があります。SSUのユーザズガイドを参照してMONITOR TYPE設定を直してください。
- ディスプレイの同期はとれていますか？
 - 50ページを参照してディスプレイの同期の設定を確認してください。

[?] SSUを接続していてSSUのサーバポートを切り替えた際に、画面のちらつき・ノイズ・ずれ・表示できない等が発生する

- インタフェースケーブルは正しく接続されていますか？
 - SSUのユーザズガイドを参照して本製品のケーブル接続を確認してください。
 - ケーブルやコネクタが破損していたり、汚れたりしていないことを確認してください。ケーブルやコネクタが破損している場合は保守サービス会社に交換を依頼してください。
- 解像度の設定が間違っていないですか？
 - サーバの解像度設定または50ページを参照してディスプレイの解像度設定を確認してください。
- SSUのMONITOR TYPEの情報は正しく設定しましたか？（本製品にSSUを接続している場合）
 - SSUのMONITOR TYPEの情報が正しく設定されていない場合にはサーバの解像度がディスプレイで表示できない設定で表示されてしまう場合があります。SSUのユーザズガイドを参照してMONITOR TYPE設定を直してください。
- ディスプレイの同期はとれていますか？
 - 50ページを参照してディスプレイの同期の設定を確認してください。
- サーバを複数台接続していて、サーバポートを切り替えていますか？
 - サーバポートを切り替えると信号が同期しきれない場合があります、調整作業が必要となることがあります。これは本製品の内部回路の特性により発生してしまう場合がありますが、本製品やサーバの不具合ではありません。50ページを参照してディスプレイの設定や、サーバにてディスプレイの設定を変更して調整してください。

[?] 画面が表示されなくなった。

- 直前まで正しく表示されていたか？
 - 長い期間使用し正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合は、LCDの寿命の可能性あります。販売店または保守サービス会社にご相談ください。
LCDに使用している蛍光管（バックライト）には寿命があります。

[?] 画面調節ができない。

- AUTO/EXITボタンで自動調整はできますか？
→ 画面を出来るだけ白い設定にして、AUTO/EXITボタンを押して自動調整を行ってください。
- BRIGHTNESSが極端に暗い設定になっていませんか？
→ 50ページを参照して画面を出来るだけ明るい設定にしてAUTO/EXITボタンを押して自動調整を行ってください。
- LCDが使用可能な解像度とリフレッシュレートになっていますか？
→ サーバの画面設定をLCDで使用可能な解像度とリフレッシュレートに設定しなおしてください。

[?] 画面表示がおかしい。

- 画面表示で格子状の表示箇所がちらつきますか？
→ 50ページを参照してFOCUSの調整を行ってください。
- 画面表示で縦帯状の縞模様が見えることがありますか？
→ 50ページを参照してCLOCKの調整を行い、その後FOCUSの調整を行ってください。
- 画面表示がはみ出ますか？
→ 50ページを参照してCLOCKの調整を行い、その後が面位置の調整を行ってください。
- LCDが使用可能な解像度とリフレッシュレートになっていますか？
→ サーバの画面設定をLCDで使用可能な解像度とリフレッシュレートに設定しなおしてください。
- 画面表示が消えることがありますか？
→ 41ページを参照して電源コードが正しく接続されているか確認してください。
- 文字の太さが場所によって異なりますか？
→ 50ページを参照してCLOCKの調整を行い、その後FOCUSの調整を行ってください。
→ サーバで設定された解像度を表示するためにLCDがデジタル処理を行い擬似的に拡大処理している場合に発生することがあります。サーバの解像度を変更して適切な表示となるよう調整してください。
- サーバごとに解像度とリフレッシュレートの設定が異なっていますか？
→ LCDは解像度ごと(リフレッシュレート含む)に設定値を記憶しています。
50ページを参照してLCDの解像度とリフレッシュレートを接続しているサーバの解像度とリフレッシュレートと同じ設定になるよう変更してください。

[?] 画面上に縦縞や水平方向ノイズが現れる。

- 画面の微調整を行っていますか？
→ 50ページを参照してLCDの微調整を行ってください。

[?] 画面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある。

- LCDの特性によるもので故障ではありません。

[?] 画面上の明るさにムラがある。

- 表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、LCDの特性によるもので故障ではありません。

[?] 細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる。

- 細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、LCDの特性によるもので故障ではありません。

[?] 線の太さなどがぼやける。

→ 1280×1024以外の解像度の画像を表示するとこのような症状が生じることがありますが、LCDの特性によるもので故障ではありません。

[?] 表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる。

→ 表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、LCDの特性によるもので故障ではありません。

[?] 画面の表示状態が変わっていく。

→ LCDは蛍光灯を使用しているため、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、LCDの特性によるもので故障ではありません。

[?] 前の画面の像が薄く残っている。

→ 長時間同じ静止画像を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。電源を切るか変化する画面を表示していれば「残像」は1日程度で消えます。

[?] 表示色がおかしい。

☐ LCDのOSD画面設定は正しいですか？

→ LCDのOSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または保守サービス会社にご相談ください。

→ LCDのOSD画面が正常に表示される場合は、50ページを参照して「COLOR」を選択し好みの色あいに調整するか、「RECALL」にて工場出荷時の設定に戻してください。

ただし、「RECALL」にて工場出荷時の設定に戻した場合は、表示色以外の設定も工場出荷時の設定に戻ってしまいます。

→ LCDのOSD画面が表示され、50ページを参照して「COLOR」設定を調整しても正常に表示されない場合は、サーバとの接続やサーバ側の設定（VGAの周波数、解像度、出力信号等）を確認してください。

[?] 画面がちらつく。

☐ LCDのOSD画面設定は正しいですか？

→ LCDのOSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または保守サービス会社にご相談ください。

→ LCDのOSD画面が正常に表示される場合は、50ページを参照して「FOCUS」を選択してちらつきを調整してください。

→ LCDのOSD画面が表示され、50ページを参照して「FOCUS」設定を調整しても正常に表示されない場合は、サーバとの接続やサーバ側の設定（VGAの周波数、解像度、出力信号等）を確認してください。

[?] 画面に“OUT of Timing”と表示される。

☐ コンソール情報は正しく設定されていますか？

→ 本製品以外のモニタから本製品のLCDに戻して使用する場合にサーバのモニタ設定が表示できない解像度に設定されている可能性があります。サーバのユーザーガイドを参照して正しく設定してください。

[?] 画面に”AUTO ADJUSTMENT FAILED SEE USE’ S MANUAL”と表示される。

- ☐ 画面表示が暗い状態で自動調整を行っていませんか？

→ 画面を出来るだけ白い設定にして、AUTO/EXITボタンを押して自動調整を行ってください。

[?] 画面に”UNSUPPORTED MODE SEE USE’ S MANUAL”と表示される。

- ☐ LCDとサーバの解像度とリフレッシュレートは合っていますか？

→ LCDのMENU画面で、INFORMATIONで設定されている解像度とリフレッシュレートと、サーバの画面設定の解像度とリフレッシュレートを合わせてください。

[?] 画面に“NO SIGNAL”が表示された。

- ケーブルは正しく接続されていますか？
→ 41ページを参照してケーブル接続を確認してください。
- ケーブルが損傷していませんか？
→ ケーブルが損傷していないか確認してください。
- 電源ランプが橙色に点灯していませんか？
→ サーバの電源が入っているか確認してください。
→ サーバがスリープモードもしくはスタンバイ状態になっていないか確認してください。

[?] 画面に“Out of Range”が表示された。

- サーバの画面設定はLCDが表示可能な解像度になっていますか？
→ サーバ側の解像度を適切な範囲に設定してください。
- サーバの画面設定はLCDが表示可能な周波数になっていますか？
→ サーバ側の周波数を適切な範囲に設定してください。

NEC Express5800 シリーズ 17 型 LCD コンソールユニット

5

付 録

1. 仕 様(75 ページ)

本製品の仕様を説明しています。

1. 仕 様

1.1 N8143-83

項目			仕様	
名称			17型 LCD コンソールユニット(1Server)	
Nコード			N8143-83	
LED 表示	青色(電源)		1	
	橙色(インジケータ)		1	
コンソール部	モニタ	パネルタイプ	17 型 SXGA TFT カラー液晶	
		解像度	水平 1280 × 垂直 1024 (最大)	
		リフレッシュレート	75Hz (最大)	
		表示色	1, 677万色(最大)	
		輝度	250cd/m ² (Typ)	
		コントラスト比	650:1 (Typ)	
		アナログ RGB インタフェース	Mini D-Sub 15Pin オス(青色) × 1	
		モニタプラグ & プレイ機能	VESA DDC 2B 対応	
		視野角	左右:80° 上下:80°	
	Keyboard /Mouse	Keyboard 配列	日本語	
		Keyboard キー数	108	
		Mouse	タッチパッド方式 (静電容量方式)	
		Mouse 分解能	220cpi (文字／インチ)	
		Mouse スイッチ数	3	
		PS/2 インタフェース	2 (OADG 準拠) (9pin male mini-DIM オス(紫、緑)、1.8m)	
		USB インタフェース	1 (USB 1.1 準拠(黒色)、1.8m)	
		電源		
	消費電流			0. 65A
	有効電力			23. 0W (MAX)
動作温度/湿度			10～40℃／20～80%RH (結露無きこと)	
質量			12Kg	
外形寸法	スライドレール縮小時		483mm×555mm×42mm	
	スライドレール伸張時		483mm×1, 005mm×42mm	
	スライドレール伸張+LCD引き起こし時		483mm×1, 005mm×359mm	
電源コード			2.0m	

NEC Express サーバ

N8143-83

17 型 LCD コンソールユニット

ユーザーズガイド

2014年 11月 四版

日 本 電 気 株 式 会 社

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号

TEL (03) 3454-1111 (大代表)

©NEC Corporation 2014

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

＜本製品の利用目的について＞

本製品は、高性能コンピュータの平和的利用に関する日本政府の指導対象になっております。

ご使用に際しましては、下記の点につきご注意ください。よろしくお願い致します。

1. 本製品は不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置して下さい。
2. 大量破壊兵器およびミサイルの開発、ならびに製造等にかかわる不正なアクセスが行われるおそれがある場合には、事前に当社相談窓口までご連絡ください。
3. 不正使用が発覚した場合には、速やかに当社相談窓口までご連絡ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置 (UPS) 等を使用されることをお勧めします。

日本国外での使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。